

2021

2022 年度 下期

令和4年11月25日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	桜会	
代表者名	馬場 幸江	
連絡先	TEL : 022-249-1797 FAX : 022-249-1797	E-mail baba270605@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	(さくらカフェ) 域活性化事業
事業の目的	高齢になっても障害があっても閉じこもることなく地域において役割と生きがいをもって暮らすことができるよう地域の中に交流できる場づくりをすすめる。コロナ禍においても閉じこもりがちになる方のフレイル予防をめざし、地域の中で体を動かし健康維持できる集いの場づくりを進める。
事業の具体的内容	毎週木曜日緑が丘 4 丁目会館を拠点に集いの場を展開する。 第 2 木曜日は参加と交流の会として五感を使うことを意識したプログラムを展開する。 音楽を聴いたり季節のお菓子やお茶を楽しんだり手先を動かす物づくりのプログラム等を実施する。第 1・第 3 木曜日は体づくりの会とし、軽体操や健康に関する講和を行い、ストレス解消やフレイル予防のプログラムを実施する。 プログラムの内容は参加者の特技披露の機会を設け支援される側と言う立場だけではなく、それぞれが役割を發揮できる場作りを心がける。また、地域の幼稚園や福祉施設等との交流による活動プログラムなどで地域の社会資源を活用する。 実施回数 月 1 回 計 6 回

<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>①再会の挨拶とスタッフ紹介。当日の流れについて説明 ②ウオーミングアップをして体をならし、物づくり等に臨む。 ③2部構成になっており 1部：体操→物づくりや参加者の特技披露。 2部：昔懐かし音楽を聴いて、共に口ずさむ。 回想ができ刺激も与えられることで生活にメリハリができる 一緒にみんなで歌うことで他者との交流が取れる。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>東日本大震災から早や11年。この地区は仙台市内では大打撃を受け町内の半数がこの地区を離れなければならない事態になりました。それまでは地域を担っていたのはこの地区の高齢者でもあり住民でもありました。震災により町内は分断されこの地区をやむなく離れざるをえなくなり、この地で育った人・新たに居を構えた人さまざまな状況になりました。そのため交流が途絶え高齢化も加速。殺伐とした人間関係・閉じこもり・孤独死も増えました。サロンを開催することで人が集まり交流が増え、この地を出た方たちが故郷に戻れるような喜びをもってもらえること。知り合いがいなく過していた方がサロンに参加することで知り合いができた。 高齢化が加速している地域でお互いがお互いを助け合え、サロンに来ることでお互いの安否を気にし合えるような関係性づくりを望んでいました。</p> <p>※開催から3年。コロナ感染が徐々に増えつつある中で開催でしたが多くの方が集まってくれました。「家の中にいると足腰が弱くなる」「毎日誰と話すことも無く一日が過ぎる」等の声が多く聞かれました。「ここに来ると誰かがいる」と言ってくれた人もいました。閉じこもりや身体状況の低下等がサロン開催したことで多少ではありますが成果がみられた様に思われます。また最近では、参加者の笑顔も増えて来て「来月も来るね」の声も聞こえるウになりました。集団移転を余儀なくされている住民がいることから、かつての住民（被災者）も参加できる場として、復興のシンボルとされる公園等の活用を検討し地域の活性化を促す。 さくらカフェに参加することで住民同士の横のつながり構築され、住み慣れた地域で生き生き地域社会で共に過ごせ、地域の中で穏やかな支え合いの仕組みができる様に促したい。 そこに行けば誰かに会えると思えること。</p>

今後の展望など	<p>多くの人々に周知していただき、孤独感や不安感が解消でき、閉じこもることなく居場所づくりができる様になりたい。</p> <p>高齢になっても住み慣れた場で生きがいを見出し穏やかに安心して過ごせるようお手伝いをしていきたい。</p> <p>そのためにも社会資源の活用をもっとしていきたいと思っています。</p>
---------	--

助成金報告書(令和4年4月～9月まで)

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	430000	こぶ福祉会助成金
他機関助成金	0	
合計	430000	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
会場使用料	1000(円)/1回×6回	12000	6000
ボランティア交通費	3000(円)/1団体×6名	18000	18000
ワークショップ代	500(円)×人数×回数 500円×30人×6回	180000	84981
ボランティア保険	30(円)×人数× 30円×142名	7200	4260
事務消耗品	事務消耗品(印刷代・コピー代・文房具)	10000	760
広報作成費	インク代・紙代	10000	2189
物品購入費	消毒液等		9500
合計		237200	125690

内訳 (助成金)430,000-(支出額)125,690 =(残額)304,310 (円)

助成金報告書(会費及び自己資金)

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
参加費	30,000	200円/人
自己資金	50000	自己資金
合計	80000	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
自己資金	自己資金	20120	0
会費	加者会費(200円×30人×6か月×2回)	72000	27,374
合計	0	92120	27374

内訳 (総額)80000 -(支出額)27,374 =(残額)52,626 (円)

※参加者が高齢であり、コロナ感染対策と感染防止のため月1回開催としました。
感染者が一人も出ていないことが幸いです。





